日本キリスト教団 **東金教会（49）**

２０１７年１２月３日 降誕前第４主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖　句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。　エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司　　式　中里
奏　　楽　中村
受　　付　鈴木
案　　内　中島
名 札 係　足立
礼拝感謝祈祷　宮中
〃　〃　岡村

前　　奏　　中村
讃 美 歌　７５　一同
信仰告白　　〃
交 読 文　３１　司・会衆
主の祈り　５６４　一同
聖　　書　ローマ書 １５:14〜21　司会者
祈　　祷　　中里
新 聖 歌　３９２　一同
み言葉の伝え　　中村征一郎
［神のために働くこと］
讃 美 歌　４９４　一同
聖 餐 式　配餐…宮中、朴
　　　　　祈祷…岩崎、戸波
讃 美 歌　５１３　一同
献　　金
礼拝感謝　　宮中
〃　〃　　岡村
報　　告　　中里
頌　　栄　５４１　一同
祝祷（派遣）　　中村征一郎
後　　奏　新聖歌５８　聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 12月6日(水)午後7:30より
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習 本日礼拝後
聖書輪読会 12月10日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 12月10日(日)10:25-10:30

【報告】

☆今週よりアドベントです（〜24日まで）。ご降誕の主イエス・キリストへ思いを馳せつつこのときを過ごしたく思います。
☆１１月の献金報告ができております。ご覧下さい。
☆クリスマス案内ができております。ご覧下さい。
☆クリスマス・ポスターが出来ております。お貼り頂ける方は宜しくお願いします。
☆先週の謝恩日献金は総額38,800円お献げ戴きました。感謝してご報告致します。
☆今年のクリスマス・メッセージ担当は燭火礼拝及び12月17日の説教は中村牧師担当、12月24日のクリスマス礼拝担当は朴牧師の予定です。

【12月3日〜12月9日の誕生者】

○家田　姉 ○朴　牧師　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(11/26)	15	28	43
聖研祈祷会(11/29)	3	4	7
聖書輪読会(11/26)	3	3	6
教会学校(11/26)	9	11	20

早天祈祷会			
日	男	女	計
11/27	1	2	3
11/28	1	2	3
11/29	1	1	2
11/30	1	2	3
12/1	1	2	3

主日礼拝献金(11/26)……３３，８０８円
教会学校献金(11/26)………７，７００円

【今日のメッセージ】

題　［神のために働くこと］
聖　書　ローマ書１５:１４〜２１
1・神がそれをしてくれる

2・祭司パウロ

3・キリストが私を通して

【次週(１２月10日)礼拝案内】

題　［祈りを共にして］
聖　書　ローマ書１５:２２〜３３
交読文　３２
讃美歌　７７番　３２１番
新聖歌　１９１番

【次週(１２月10日)礼拝当番者】

御言葉の伝え…中村征一郎
司　式　者…岡村
奏　楽　者…中里
受　付　者…澤本
案　内　者…藤田
名 札 当 番…藤田
礼拝感謝祈祷…足立
〃　〃　…藤本
ｃｓお話し…朴
会堂清掃者…岡部
〃　〃　…深山
花　　係…岡部
看板書き…戸波

【聖書から】

だから、神の栄光のためにキリストがあなたがたを受入れてくださったように、あなたがたも互いに相手を受入れなさい。
ローマ書一五章七節

互いに相手を受入れなさい！これは時として誠に難しいパウロの命令ではないか。人の世界には敵味方に分かれ、命のやりとりをした、あるいは親が理不尽にも侵略者から殺された等と、どうしても恨みが残り、許せない場合がある。あるいはそこまで行かずともどうしても気持が合わない、あるいは生理的に嫌悪の気持がぬぐえない、その他様々の理由から相手を受け入れられない場合がある。ときどき不倶戴天の敵を許すことができたなどと言う証しを目にすることがあるが、たいしたものだと思う反面、自分には到底出来ないとの思いをぬぐうことができないのである。おそらくこの問題は神さまから「許せ！」との命令を与えられ、血を吐くような思いを突き抜けさせられる経験でもしなければ人間は憎しみから解放されないのではないか。許す恵みに生きるより憎しみをぶつけ、相手が苦しむのをみて快さいを叫ぶのが人間である。それは例えば主イエスの場合もそうだったのではなかったか。社会に騒乱を引き起こすものとして権力者の憎しみを思う様にぶつけられ、残虐な、そして屈辱のなかでイエスは死なれた。人の思いで言えば主イエスはこのような憎しみをぶつけた者達に主の方からも思う様に復讐の刃を浴びせてよかったのではなかったか。あるいは父なる神はこのような者達を滅びのままに捨て置いても良かったのではないか。しかし聖書は、このような者達を救いの恵みに与らせるために父なる神は御子を犠牲にされたという。そして御子イエスは、このようにして父なる神に栄光が帰せられるのを願ってご自身の命を差し出されたのである。そしてこれが信仰者の模範だと言う。到底私達にはできそうにないのだが、鍵は「神に栄光を帰す」心が本当に私達にあるか、である。それほどリアルに神を意識出来るだろうか。神の御支配の確かさをこの世の支配の捕われを超えて意識できる者になりたいものである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。